

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	建築生産小委員会	主 査 名：古 阪 秀 三 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：眞嶋 二郎
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的</p> <p>本小委員会は、建築生産に関する技術・技能上、仕組み制度上の諸問題を研究・議論することを目的としている。</p> <p>このため、建築生産シンポジウム、建築生産ワークショップ、建築生産パネルディスカッションを、それぞれ年 1 回開催し、その企画、運営を担当している。</p> <p>各年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2005 年度：2006/3/3 建築生産パネルディスカッション開催</li> <li>・ 2006 年度：7/27,28 建築生産シンポジウム開催予定 11/10 建築生産ワークショップ開催予定 3/2 建築生産パネルディスカッション開催予定</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り	
	(主査)古阪秀三(京都大学) (幹事)大内仁(戸田建設)、斎藤隆司(日本郵政公社)、安藤正雄(千葉大学)、浦江真人(東洋大学)、遠藤和義(工学院大学)、大沢幸雄(大成建設)、金森茂(サポビル)、蟹澤宏剛(芝浦工業大学)、嘉納成男(早稲田大学)、田沢良一(伊々)、永易修(フジタ)、平沢岳人(千葉大学)、山崎雄介(清水建設)、湯浅洋一(竹中工務店)	
設置 WG	設置なし	
2005 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/seisan/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/seisan/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物	なし
講習会	なし

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	<p>1. 第21回建築生産シンポジウム(7/21&lt;木&gt;-22&lt;金&gt;、建築会館ホール) 参加者数 89名 資料:「第21回 建築生産シンポジウム論文集」</p> <p>2. 第3回建築生産ワークショップ: ゼネコンの現場技術者の雇用の変化と教育育成について考える (11/2&lt;水&gt;、建築学会会議室、生産管理委員会との共催) 参加者数 57名 資料:「ゼネコンの現場技術者の雇用の変化と教育育成について考える」</p> <p>3. 建築生産パネルディスカッション: 公共工事の品確法について (2006.3/3 &lt;金&gt;、建築会館ホール) 参加者数 72名 資料:「公共工事の品確法について」</p>
<p>大会研究集会</p>	<p>なし</p>
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	<p>なし</p>
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 建築生産シンポジウム: 広範囲の分野の研究者・実務者からの最新の建築生産に関する発表を通じて情報交換を行うことができた。</p> <p>2. 建築生産ワークショップ: 生産管理小委員会とともに、ゼネコンの現場技術者の雇用の変化と教育育成について議論を深めた。</p> <p>3. 建築生産パネルディスカッション: 2006/3/3 開催予定(「公共工事の品確法について」というテーマで、この法律のねらいとプロジェクト関係者に及ぼす影響について議論したいと考えている。)</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>2005年度はそれぞれの催し物において内容の濃い発表や討議を行うことが出来たが、参加人数においては十分満足のいくものではなかった。次年度は、関係諸方面へのアピールと内容の更なる充実を行い、多くの参加者を集めたいと考えている。</p>
<p>その他の活動状況・研究成果</p>	<p>特になし</p>